

令和 6 年度 日置市教育委員会定例会(7 月)

○日 時：令和 6 年 7 月 23 日（火） 午後 3 時 30 分～午後 4 時 10 分

○場 所：日置市中央公民館 研修 2・3（3 階）

○出席者：（欠席）奥教育長

委 員：内村委員・中島委員・鵜木委員・福田委員

事務局：東（事務局長兼教育総務課長）・中鉢（学校教育課長）

田代（社会教育課長）・内田（東市来支所長教育振興課長）

坂上（日吉支所教育振興課長）・神之門（吹上支所教育振興課長）

宮前（教育総務課長補佐）

1 開会

内村教育長職務代理者： 日置市教育委員会 7 月の定例会を始めます。

（以下代理者）

2 前回議事録の承認

内村代理者： 前回 6 月の議事録の承認をお願いいたします。変更や修正等はありませんか。

（特になし）

よろしかったでしょうか。

（異議なし）

それでは、6 月の議事録は承認とさせていただきます。

【前回の議事録承認】

署名・押印は、鵜木委員と中島委員をお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

内村代理者： 委員及び教育長の報告です。中島委員からお願いいたします。

中島委員： 前回の定例会以降の出席等について、報告させていただきます。前回の定例会は私用により欠席いたしまして、申し訳ございませんでした。

それでは報告です。7 月 1 日、日置市教育委員会学校訪問で東市来中学校を訪問させていただきました。特別支援学級 4 学級の

生徒数26人を含む、全11学級、268人、また、職員が支援員を含む31人で、校訓「自ら学び考え、判断し、行動できる、心豊かでたくましい生徒の育成」を目標に学校運営がなされていました。

当日は私用のため、遅れての参加になり、校長からの学校説明は確認できませんでした。が、昨年度、上市来中学校の現3年生が2年生の時に統合が行われ、不安の中スタートしたと話を伺いました。

3年生になり、当時の学級担任の1名を残して他を全部入れ替え、心機一転、新たにスタートしました。受験生になるので、授業をしっかりとみてくださいますというところもありましたが、3年生は最上級生ということもあり、受験等も踏まえて、授業の進行も乱れることなく、授業に集中していたように思います。

現3年生が2年生の時に学校運営に困難な場面もありましたが、校長、担任、他の教員、保護者が一体となって熱心に取り組まれた様子がうかがえました。3学年を迎えて、新たな気持ちで1年間を過ごしていただきたいと思います。

定例会以降の出会いは、この1件のみでした。以上です。

内村代理者： ありがとうございます。鵜木委員、お願いいたします。

鵜木委員： 今、中島委員が東市来中学校の学校訪問について話されましたが、遅れて来られたということで、私の方から学校訪問の内容を、重なる部分もありますが、報告させていただきます。

7月1日の東市来中学校の学校訪問については、学校教育目標に「自ら学び考え、判断し、行動できる、心豊かでたくましい生徒の育成」が掲げられ、昨年、上市来中学校と統合して東市来地域唯一の中学校となって2年目を迎えることから、生徒、職員共にこれまでよりもワンランクアップした学校を目指すという意識を持ち続けられるようにと、「新生東市来中の創造」を重点施策として取組が進められていました。

主な取組としては、学力向上委員会を設置して学力向上コーディネーターを新設し、毎週開催するようにしたことや、不登校支援コーディネーターの新設、別室登校者のためのオアシスルームに担当者を配置したこと、カウンセリングコーディネーターの新設、家庭訪問を廃止した三者面談などが挙げられます。

校長、教頭による学校経営の説明では、昨年度2年生に在籍し

ていた数人の生徒による問題行動や暴言などによって、学級崩壊や授業崩壊をしている状況が見られたそうですが、本年度に入り、3年生に高校受験を控える身としての心構えが感じられるようになってきたことや、2年生では、けじめが付きつつあるとお聞きしました。

また、授業崩壊等の元になっていた生徒の内の1人が、3年生に進級し、高校進学を希望して取り組み始めたことがきっかけとなって、他の2人の意識に変化が見られるようになってきたとも話されました。

事前に貰っていた資料に「子どもの声調査」の結果が掲載されていました。その中で「授業がよくわかる」という項目が、どの学年も極端に低かったことが示されていましたが、原因が生徒側にあるのか、教師側にあるのかについては、しっかりと検証して、学校の最重点課題である学力の向上に直結するよう家庭を巻き込んだ取組とする必要があると思いました。

諸表簿閲覧の時間に、校長から学校の核として期待できる職員を教えてもらったところ、7人の教師名を挙げられましたので、授業参観の折に指導案で確認しながら参観させてもらいました。僅かな時間の参観ではありましたが、共通するところは、生徒に毅然と対応しているところではないかと思ったところです。

普通教室も学年、学級によっては、ぎちぎちの状況で、暑い夏場は能率が上がらないだろうと思いますし、特に特別教室はエアコンの設置もなく、理科室、美術室での授業は生徒にとってはつらいだろうと感じるとともに、学力向上という観点からも早急の改善が必要だと感じました。

20日は、妙円寺の夏祭りに参加しました。ステージでは、カラオケ大会や踊りの他に、小中学生によるラムネの早飲み競争などがあり、多くの人達が楽しい一夜を過ごしていました。来賓として、伊集院北中学校の内校長と妙円寺小学校の有村校長が来られました。

なお、8日に行われた伊集院北中学校の計画合同訪問は、大学の授業と重なったために参加できませんでした。以上でございます。

内村代理者： ありがとうございます。福田委員、お願いいたします。

福田委員： 報告させていただきます。6月の定例会は所用で欠席させていただきました。すみませんでした。

7月1日に東市来中学校の学校訪問に行つてまいりましたが、中島委員、鶴木委員が概要を述べられましたので、私が思ったことを報告させていただきます。

東市来中学校は学校全体がとても綺麗で、掃除や整備が行き届いていました。校舎の中やクラスの掲示板も綺麗にされていて、学ぶ環境は整っているのではないかと思います。

授業も参観させていただきましたが、先生方の一生懸命さがとても伝わってきました。新規採用の先生の授業では、生徒達が落ち着かない様子ではありましたが、先生によっては大きな声で授業をしっかりと進め、生徒達はその声につられて元気に授業を受けているという場面も多く見られましたので、これからの先生方に期待したいと思っております。

その他には、不登校問題に校長先生がしっかりと向き合い、対策や改善を行っていることも確認できましたので、こちらも併せて期待したいと思っております。以上です。

内村代理者： ありがとうございます。

私の方から報告させていただきます。

6月23日は、地元の吉利保育園の運動会を参観しました。50人程の小さな園で、地元の日吉の園児は10人程ですが、0歳児から6歳児までと学童保育の児童と一緒に参加して、賑やかな半日の運動会でした。若い保護者の皆さんが、地域を越えて、進行や用具等の設営にも協力的で、親子共々笑顔一杯で、見物の祖父母の皆さんも喜んでおられました。

若い保護者の皆さんが、子どもを愛し慈しんでほしいと願いつつ、子ども達が健やかに成長し、特に年長組の7人の園児が来年4月から、それぞれの小学校に入学するのがとても楽しみです。

6月23日から26日まで、3泊4日の東市来・日吉・吹上地域合同ふるさと学寮が実施され、23日の午後2時30分から入寮式が日吉地域のせつぺとべ館であり、出席しました。3地域6小学校の23人、1中学校の7人の小中学生30人が集合し、家庭を離れ、異年齢集団による共同宿泊生活を通じて、「自主性・協調性・社会性等を培うとともに、家庭の大切さ、感謝や思いやりのある人間

性豊かな青少年の育成を図る」という趣旨を体得して、最後まで頑張ってもらいたいと願いました。

4日間の活動では、調理実習でマレーシア・韓国料理に挑戦したり、3人のALTとの交流、人権・道徳研修、夕食の片付け、洗濯等、家庭を離れて充実した生活を過ごしたようです。

最終日の26日、17時45分から退寮式が開催され、奥教育長から修了証書が授与されました。6班の各代表が4日間の学寮生活を振り返り、感想を話しました。「ALTとの交流が楽しかった」「食事がおいしかった」「人が傷つくことを言ってはいけない」「行動を早くする」「家族の大切さが分かった」など、堂々と発表していました。来年も是非参加したいと、全員の手が挙がりました。今後のそれぞれの小中学校での成長が、とても楽しみです。

最後に、3支所の教育振興課の職員の皆様、昼夜を問わずに、優しく厳しくご指導していただき、ありがとうございました。

6月28日は、日吉地域青少年育成会議に出席しました。日吉地域では、青少年健全育成団体相互の連絡と情報交換等を交えて、青少年の健全育成に努めています。

会の情報交換で駐在所から「日吉地域では青少年に係る事件は発生していないが、他地域では発生している。当地域でもいつ発生するか分からないので、引き続き見守りが大事です」と話されました。他団体からは「田植え踊りへの児童生徒の参加者が増えており、郷土芸能の伝統が守られた」「地域のこども食堂が盛況である」「子ども会と地域と一緒にあくまき作りや餅つきをして、交流を深め、見守り活動に繋げている」という情報もありました。20日から夏休みに入りますが、「児童生徒による帰宅時刻の放送」「夏休み期間中の毎週土曜日の校外巡視パトロール」で、地域全体で子どもの安全を見守り、声かけ活動を継続していくことを確認しました。

7月7日から7月21日の各日曜日に、県民スポーツ大会の日置地区選考会が開催されました。日置市・いちき串木野市の各種競技の代表選手が、競技ごとに各競技会場に参集して、熱戦を繰り広げていました。

私は、ソフトテニス・軟式野球・銃剣道・ゲートボール・弓

道・剣道・グラウンドゴルフを応援しました。各競技会場は、選手の皆さんが日頃の練習の成果を如何なく発揮して、熱気と応援の皆様の声援で盛り上がっていました。生涯スポーツの一環として、今後も選手の皆さんが、健康づくり、仲間づくりのために、継続されることを願いました。

7月11日は、吹上高校令和6年度第1回学校関係者評価委員会に出席しました。まず、5年度の進路状況は、進学20人、就職34人で、県内21人、県外13人となり、5年度は県内就職が多かったです。ここ3年間で、入学生が増加しており、2年前より35人、昨年より22人増えて、今年は全校生徒216人になりました。また、皆勤賞が全校で130人もおり、継続して登校し、部活動も盛んになってきて、生徒が元気です。平成18年から令和5年度まで18年連続、就職率100%を誇っています。

7月14日は、地域の方々や子ども会・育成会の皆さんと吹上浜クリーン作戦に参加しました。皆で清掃作業に取り組んで、海岸も綺麗になり、子ども達もいい汗をかいて、海で楽しみました。

なお、7月1日の東市来中学校学校訪問は、中島委員、鶴木委員、福田委員が詳しく述べられましたので、私からは割愛いたします。以上です。

4 議事

【報告第12号 日置市学校給食費保護者支援事業費交付金交付要綱の制定について】

内村代理者： 報告第12号日置市学校給食費保護者支援事業費交付金交付要綱の制定について説明をお願いいたします。

東局長： 資料の1ページをお願いします。報告第12号日置市学校給食費保護者支援事業費交付金交付要綱の制定についてでございます。日置市学校給食費保護者支援事業費交付金交付要綱を別紙のとおり制定し、臨時に代理したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定により、これを報告するものでございます。令和6年7月23日、日置市教育委員会教育長職務代理者、提出でございます。

2ページからが、交付金交付要綱の内容です。4ページの一番下をご覧ください。4年度、5年度にも給食費の交付支援事業と

して、日置市学校給食費高騰対策事業費交付金交付要綱を定めておりましたが、この要綱を廃止し、新たに保護者支援事業として交付要綱を定めております。

ただし、保護者に交付する額は今までと同額でございます。これまではコロナの臨時交付金や、去年は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などの国の補助金を財源としておりましたが、6年度は市の一般財源で事業を実施するものでございます。交付金の額や手続きは、これまでと変わっておりません。交付総額は約5,730万円となります。以上です。

内村代理者： ただ今説明がありました日置市学校給食費保護者支援事業費交付金交付要綱の制定につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第12号は、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第12号は、原案のとおり承認されました。

【報告 第12号 承認】

5 その他

(1) 事務局長

(2) 学校教育課長

(3) 社会教育課長

(4) 各支所教育振興課長

ア 東市来支所長教育振興課長事務取扱

イ 日吉支所教育振興課長

ウ 吹上支所教育振興課長

(5) その他

6 閉会

内村代理者： それでは日置市教育委員会7月の定例会を終了いたします。

終了

署名委員

河村友治 

署名委員

福田直美 